

二中だより

さ と く う つ く し く た く ま し く

天童市立第二中学校だより 第10号 令和7年10月21日 文責：校長 五十嵐由美子

クラスの仲間とのハーモニー ♪ 合唱コンクール ♪

天童市民文化会館を会場に、10月9日(木)合唱コンクールが開催されました。

7月に各クラスで合唱曲を選曲してから、日々、練習を重ね、それぞれのクラスらしさの感じられる素晴らしい合唱を披露しました。どのクラスの合唱も、甲乙つけがたい出来栄で、審査が難航しました。

合唱はひとりではできません。よりよい合唱をつくりあげるために、みんなで考え、話し合い、何度も練習し、確認し、歌声を磨いてきました。コンクールまでの道のりは平坦ではなく、それぞれのクラスで様々なドラマがあったことでしょう。その時間こそが、クラスの成長の時間であり、価値のある時間です。その過程を振り返り、仲間の良さや頑張りを思い返し、共に認め称え合い、感謝する姿勢を大切にしていきましょう。

これまで、企画や準備、当日の運営を行ってくれた実行委員のみなさん、各クラスでよりよい合唱を作るためにみんなをまとめてくれたリーダーのみなさん、そして、素晴らしい合唱を作りあげた生徒のみなさん、ありがとうございました。



◆合唱コンクールではパートリーダーとして、男性パートを支える役割につきました。自分的には今までの練習を生かした合唱ができました。でも、みんなに支えられて、自分は楽しく歌えたんだと思います。自分だけでなく、誰かのことを支えられるのが1組のいいところだなと思いました。(1年生)

◆みんなで、うまくいかなかったところや改善点を話し、よりよい合唱になるようにした。自分から意見を出したりパート人と話したりすることでコミュニケーション力がついたと思う。最初うまくいったけど、後半になっていくうちに合唱がうまくいなくなり、みんなで話し合いをしてから、みんなの合唱コンに向ける熱量が増えて、本番でとても良い合唱が作ることができた。(2年生)



◆課題の見つけ方、直し方を今後に生かしていこうと思います。今回はパートリーダーでまとめ役だったので、どこが課題なのか、どうしたら改善されるのか、考えて観察すること、実際にやってみることが大切だと知ることができたからです。(3年生)

◆先輩方は合唱コンクールに対しての気持ちの入り方が全然違うなと思いました。特に3年生はクラスの全員がしっかり歌っていたし、結果発表の時に、思うような結果でなかったクラスの生徒がみんなでくやしがっていました。私はその姿を見て、このような気持ちになるのは今まで精一杯努力してきたからかなと思いました。私たちも、来年、再来年と今回の先輩方のようにかっこいい姿を目指したいです。(1年生)

大健闘！ 県中学校駅伝大会 県6位入賞

10月4日(土)に県総合運動公園を会場に、県中学校駅伝大会が開催されました。本校男子駅伝チームは、県内の地区大会を勝ち上がった26チームの中で、堂々の6位入賞を果たしました。これまで、チームでの練習はもちろん、個々に走り込み、日々、力をつけてきた結果です。大会後、上位大会に進みたかった、これからももっと走りたかったと涙する選手たちの姿がありました。選手の皆さんの努力と、選手を支えサポートしてきた皆さんの健闘に大きな拍手を送ります。

これから1, 2年生のみなさんが、先輩たちの気持ちとたすきを引き継ぎ、つないでいくことでしょう。



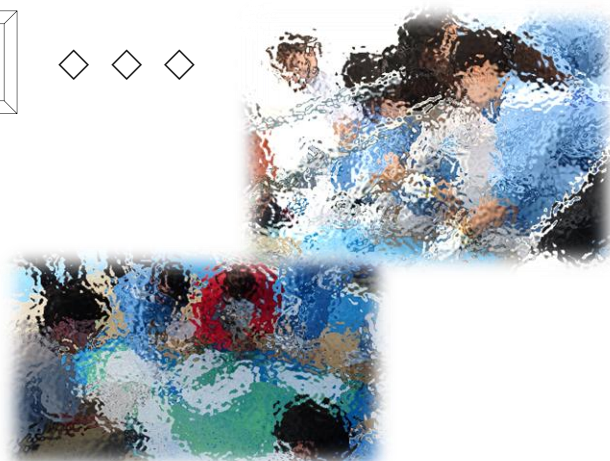
□県駅伝エントリーメンバー

第1区 ○○○○○ ・第2区 ○○ ○
第3区 ○○○○ ・第4区 ○○○○
第5区 ○○○○ ・第6区 ○○○○
・○○ ○ ・○○○○ ・○○○○

□サポートメンバー

・○○○○ ○○○○○

◇ ◇ ◇ 青い空 白い雲 プロジェクト ◇ ◇ ◇



10月11日(土)、天童二中の駐車場に、ブルーに白いマークが鮮やかな、障がい者用駐車スペースが完成しました。

天童舞鶴ライオンズクラブ、障がい者自立生活センターほっとらいふ、北部地区社会福祉協議会のみなさまのご支援・ご協力のもと、14名の二中生ボランティアが、生徒昇降口のスロープの延長上に塗装を行いました。また、ほっとらいふの方々より、障がい者用駐車場にかかわるご講話をいただきました。これからも、誰にとっても住みやすい街やよりよい社会をつくるために、何かできることはないか考えていきましょう。

◆私は、このプロジェクトに参加して、障がい者駐車場がどのようにして作られたのか、使う時の注意点などさまざまなことを学びました。特に印象に残っているのは、一目でわかりやすいように青色で塗られていることと、利用しやすいようにパーキングパーミットというものがあることです。しかし、障がい者駐車場に不正駐車している人がいると聞いて驚きました。この経験を生かして、周りにも正しい情報を伝えたいです。(3年生)

◆私が心に残っているのは、「みんな同じ」ということです。障がいを持っている人だから、特別に関わったり、距離をおいたりするのではなく、みんなと同じように接して関わって欲しいと言っていました。私も改めて、学ぶ、気づくことができるいい機会になりました。(3年生)

◆今回参加して、自分は人の役に立つ楽しさを知りました。自分の手で描いたあのマークが、今後、誰かの役に立って、もっと暮らしやすい世の中になっていったらいいなと思いました。(1年生)